

2024年度 授業計画

国際オートメカニック科

時期	1年前期	単元	実習	教科名	基礎整備	
科目	自動車整備作業・測定作業	教科書等 持参品	基礎自動車整備作業		発行日	2024年1月16日
総時限	33時限 (52時間)				教科担当	教科担当

1. 実務経験のある教員による授業科目 **該当** 非該当

自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により基本的な整備作業について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. 車両の基本的部分の名称と取扱方法の基本を理解し、安全な作業ができるようにさせる。
2. ジャッキアップの作業方法と、そのときの注意点を理解させ、危険予知ができるようにさせる。
3. タイヤ脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解させる。
4. 基本的な点検の必要性を理解し、点検及び交換作業・良否判定ができるようにさせる。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. お客様の車両を取り扱う上での注意事項を理解し、実際に気を遣いながら取り扱うことができる。
2. 車両の基本的部分の名称と取扱方法の基本を理解し、安全な作業ができること
3. 各ジャッキを使用し車両を確実にアップダウンができ、タイヤのローテーション等ができること
4. エンジンオイル及びオイルフィルターの交換作業方法を理解した上で、作業ができること
5. 日常点検の必要性を理解し、点検作業・良否判定ができること

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

実技試験 (70点)、スピーチ (8点) レポート (9点)、ルーブリック (13点) の評価合計点が60点以上で教科履修とする。

5. 準備学習

自動車の基礎知識の教科書を事前に読み予習を行う



		2024年度		授業計画	
国際オートメカニク科					
時期	1年前期	単元	実習	教科名	基礎整備
<b>7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)</b>					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
	キーロック及びシフトロックの説明	シフトロックとキーロック装置の違いと、その操作方法を説明する。			
	ガレージジャッキを用いてジャッキアップ・ダウン作業	<p>タイヤは車の重要保安部品の一部であり、摩耗や損傷は走行機能に悪影響を及ぼし且つ事故の原因となる可能性もある。よって、走行距離に応じた定期的に、また前後左右のタイヤに摩耗差ができた場合にタイヤの取り付け位置を変更する必要がある。</p> <p>ホイールカバー取り付け時、バルブの位置が裏側に示してあるので確認して付ける。</p> <p>ジャッキアップ前にホイールナットを半回転緩める。緩め過ぎるとハブボルトのネジ山がつぶれる。</p> <p>緩める順番は対角に緩める。</p> <p>締め付け時はトルクレンチを使用して確認を行なう。</p> <p>ホイールはタイヤが接地状態で少し緩め、上げて取り外す。(ホイールナット破損防止)</p> <p>取り付け時は浮いた状態でできるだけ締め付けを行い接地後に再度増し締めを行う。</p> <p>安全作業の為、作業時には必ず声が行なう。</p> <p>ガレージジャッキを下げる時、バルブを急に開けると車両が急激に下降するので危険であることを認知させる。</p> <p>ジャッキアップはフロント側から行なう。尚、ジャッキアップ時はパーキングブレーキを解除し、シフトをNにして必ず輪止めをしてからジャッキアップを行なう。</p> <p>(ジャッキ操作時、ジャッキではなく車両が移動)</p>			
	ジャッキアップ	ジャッキアップポイントに正しくセットして操作する。		ジャッキ操作中にジャッキアップポイントからジャッキが外れ、車両が落下し、周りの学生にヒヤリとさせた。	
	リジトラックの高さ	各リジトラックの高さを合わせる		リジトラックの高さ確認不足のため、互い違いになり、車両が傾いた。幸い落下等はなかった。	
	エンジンオイル及びオイルフィルタの交換作業	ドレーンプラグワッシャは再使用してはいけない。オイルフィルタは強く締め付け過ぎないように注意が必要。			
<b>8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)</b>					
実習場			座学教室		